

# まちの声



今回の「まちの声」は、1区にお住いの西間吏志さとしさんにお話を伺いました。



読んでいます。

**Q** 妹背牛町に住んで、どんな町だと感じていますか。

**A** 妹背牛町は、自然災害も少なく道路整備なども行き届いていて安全で住みやすいと思っています。

また、イベントも多くあり、町民の皆さんが楽しく交流する場があるので、移住希望者の方や町外の方々に妹背牛町の魅力を伝えるような情報発信ができれば良いなと思います。

**Q** 「議会だより」についての質問やご要望等ありますか。

**A** 議会により私たち町民の暮らしが実際にどのように変化するのか、議会が実施して

いる活動を分かりやすく説明していただき、地元の若い人たちが自分の住む町に興味を持って頂けるような「議会だより」をお願いします。

## ◆インタビューを終えて…

「妹背牛町を一度出て、都会に行ったのですが、都会にはない魅力がある妹背牛が、より良い町になればと思います」と西間さんがお話しくださいました。一度、町を離れたからこそ見えてくるものがあるのですね。お忙しいところ、ご協力いただきました。ありがとうございます。

## ◎3月定例会のお知らせ◎

会期 3月8日～17日  
一般質問 3月9日  
9時からの予定です  
場所 役場3F 議場

## 編集後記

中国武漢で、最初に新型コロナウイルスの発症確認をされた日から昨年の12月8日で2年が経過しました。9月下旬から10月にかけて感染者数が減少傾向になり、ワクチン接種により亡くなられる方や重症者の割合は大きく減少しました。飲食店の営業も緩和されつつあり希望の光がようやく見えた中で、新たに国内初確認されたオミクロン株が各地に広がりをみせています。今年に入り近隣においてはコロナ感染が発生し、この2年間のことが脳裏をかすめます。今一度、基本の三密（密集・密接・密閉）を避けることを厳守し、不要不急の外出を行わない事を心掛けていきたいと思っています。

さて、昨年11月には本町の町長選挙があり、無投票で再選が決定されました。12月の議会でもゼロカーボンシティ宣言を行い、今後まだ続くと予想される国のコロナ対策とゼロカーボンシティに向けての事業等、令和4年も様々な案件の審議が予定されています。議会として町民の皆様の生活を守るため、しっかりと議論し決定していきたいと思えます。

## 広報特別委員会

委員長 佐々木和夫  
副委員長 田中 春夫  
委員 渡辺 倫代